

Tシャツ直販「アップ ティー」が軌道に

丸井織物

織機1000台以上を保有する国内最大手の織物メーカー、丸井織物（石川県）は、新規事業で始めたTシャツのBtoC（企業対消費者間取引）直販サイト「UP T」（アップティー）が軌道に乗っている。自社でオンライン受注の仕組みを構築し、デジタルカラーメントプリンターによる出力、出



来夏にはプリンター15台へと
拡張を計画する

荷と自動化を図る。

アップティーは昨年スタート。ネットやスマートフォンアプリを通じてオリジナルTシャツが1枚から簡単に作成でき、個人向け、サークルやチームのユニフォーム、イベントグッズなどに採用が広がっている。

IT（情報技術）を活用した新規事業を手がける同社ネット事業部で立ち上げた。ユーザーが好みの画像データをアップできるほ

か、同事業部が手がけるLINEスタンプ事業とも連携し、クリエイターのイラストをTシャツデザインにも展開している。

社内内に工房を設置。ガーマン用インクジェットプリンターは当初1台でスタートし、次に3台、さらに現在6台へと拡張した。1日200面のプリントをこなすが、来夏には設備を倍以上に増やし、1日1000面規模を目指す。

受注、生産管理も独自に構築したシステムで行う。オンラインで受けた注文をQRコード化し、プリント、乾燥、発送の各工程をつないでいく。プリンターにQRコードリーダーを読ませるとプリント指示が出され、コンベアー式乾燥機の出口につけたセンサーがQRコードを読み取って出荷裏面プリントといった次の工程に自動で振り分ける。これらの自動化システムにより、最短3日で納品する仕組みを作っている。

Tシャツのほか、パーカ、トートバッグなども手がけ、外注でスマホカバーなども作成する。昇華転写プリンターも導入済みで、こちらの活用も進めていく構え。